

すべては、あしたの高槻のために。

たけなかけん 竹中 健 (27歳・無所属)

阿武山小・中学校
春日丘高校
立命館大学法学部

1987年7月生まれ(27歳)。大学卒業後、IT系企業に入社。その後、政策コンサルティング会社にて全国の市長・議員の政策形成に携わる。2013年、西宮市議会議員(のちに市長)秘書に就任し、政治の現場で研鑽を積む。現在は「一部の利益を優先し、将来にツケを遺している政治」に危機感を感じ、地元である高槻に戻り、「住み良い街・高槻」の実現のために市政に挑戦中。趣味はサッカー(中高サッカー部)。実家の近くで、妻と二人暮らし。

私は幼い頃から高槻で暮らし育ってきました。
たくさんの自然に溢れ、にぎわいのある高槻が大好きでした。

しかし、私が大人になるにつれ、他市への人口流出や政治の停滞により、
少しずつ街の活気は失われ、解決しなければならない課題が山積しています。

そんな中、私は若手の政治家たちとの出会いをきっかけに、
政治の現状に危機感を覚え、地元のために働く政治家を志すようになりました。

家族や友人など、大切な人がいる。
学校や自然など、大切な場所がある。

そんな大切なものをたくさん与えてくれた地元高槻を、
今よりもっと住み良い街として、未来の子供たちに受け継いでいくために、
これからの人生すべてをかける覚悟はできています。

すべては、あしたの高槻のために。

1. 無関心で、他人ごとだった政治

「国の借金が1000兆円を超える」「議員の不正が発覚し辞職」など、報道される政治の話は悪い内容ばかり。政治家は選挙のときには聞こえのいい公約を掲げているのに、選挙後にはそんなものはなかったかのような態度。しかし、「なかおかしい」という漠然とした政治への不信感はあるものの、政治に対する知識も関心もない私はまるで他人ごとのように思っていました。目の前の楽しいことや自分の将来のことだけを考える日々。このような政治への無関心さが政治をおかしくしていることに気付いていませんでした。そんな私に人生を変える転機が訪れます。

2. 人生を変えた若手政治家たちとの出会い

大学でふともらったチラシがきっかけで、ある若手市議会議員と活動を共にし始めました。この議員は「特定の人のための政治ではなく、市民全員に説明責任を果たせる政治が必要」と日頃から訴えていて、初めは「ただの理想でどうせ口だけだろう」と疑っていました。しかし、市民に聞こえのいい公約を掲げる政治家が多い中で、本当に必要なことであれば、選挙に有利にならないことでも真剣に訴え続ける彼の姿は本当に衝撃的でした。また、活動の中で人生をかけて政治に向き合う若手地方議員たちと出会いました。政治家の家系でも、有名人でもお金持ちでもない、まちの未来を憂う1人の人間が人生をかけ行動を起こし、政治を変え、街を変えていく。このような若手地方議員たちの志と使命感をもった生き方に強く共感し、いつしか自分も社会のために、そして、地元の未来のために活動する政治家を志すようになりました。

3. これからの時代に必要な政治家

地方分権が進むと、地方自治体は自分たちの力で厳しい時代を乗り越える必要があります。なので、必要・不必要を公正に判断し、現役世代と将来世代の両者に対して説明責任を果たせる政治が必要です。まず、現役世代への説明責任のために必要なのは「しがらみのない政治家」です。これまでは支援を受ける支持母体の影響を強く受け、政治が一部の利益のために左右されてきました。それを断ち切るためには、街全体の利益を第一義に考えるしがらみのない政治家が必要です。次に、将来世代への説明責任のために必要なのは「未来に責任のある世代の政治家」です。これまでは借金やムダな公共事業など、将来世代に負担を先送る政治が横行していました。これは未来に責任のある世代の政治家が少ないことが原因の1つです。^{※注1}子供たちは投票も、立候補もできません。だからこそ、将来世代の声を議会で代弁し続ける政治家が必要なのです。
※注1 20~30代の市議会議員は全国の市議会議員のうち1割以下
参考：総務省「平成23年 地方選挙結果調」

4. 自分を育ててくれた高槻のために

幼い頃から高槻の学校で学び、高槻の自然の中で遊び育ってきました。たくさんの自然に溢れ、にぎわいのある高槻が大好きでした。しかし、私が大人になるにつれて、他市への人口流出や超高齢化社会の進行などで、少しずつですが街の活気が失われていっています。こうした解決しなければならない課題を多く抱える高槻の未来を『一部の利益を優先する政治』や『将来に負担を先送る政治』には任せられません。だから、私は自分を育ててくれた高槻のために、市政に挑戦することになりました。これから子供を産み育て、何十年間も高槻に住み続ける自分だからこそ、一部の利益のためではなく、未来に責任のある政治のために力を尽くすことができます。今よりもっと『住み良い街・高槻』を未来の子供たちに受け継いでいくために、これからの人生すべてをかける覚悟はできています。すべては、あしたの高槻のために。

「住み良い街・高槻」を未来の子供たちに受け継いでいくために、
これからの人生すべてをかける覚悟はできています。

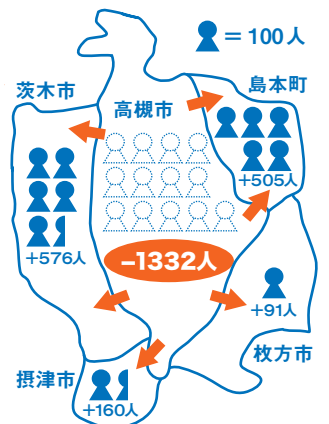
今そこにある確かな課題と未来のためにやるべきこと。

住み良い街・高槻を推進するために、認識すべき課題と私が考えるビジョンと政策。

「選ばれていない」高槻市 課題1 「超高齢社会」の進行

高槻市は平成 7 年をピークに人口減少が続いており、中でも生産年齢人口（15～64 歳）の転出超過（転出＞転入）が続いています。また、**茨木市などの近隣市に対しても転出人数のほうが多く、市民に住み続ける街として「選ばれていない」という傾向が出ています。**仕事で東京などの遠い街に行くのではなく、近隣市に転出するということは、**本来そのまま高槻市に住んでいてもよかったはずの人が、何かしら不満があり近場に転出していることを表しています。**このままでは高槻市から生産年齢人口がどんどん流出し、街から活気が失われていきます。さらに、税収減少により将来的な行政サービスの見直しや値上げ等も考えられます。

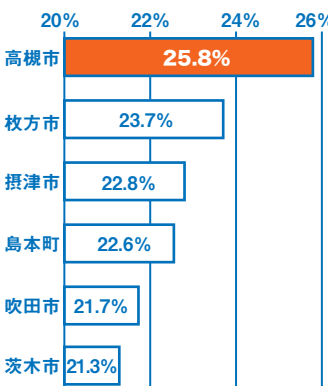
高槻市から近隣4市町への転出超過数
(平成 22～24 年の3年間の合計数)
「高槻市における人口動態の現況」より



▶高槻市民が近隣市へどんどん出て行ってしまっている。特に若い世代の人口流出が激しい。

全国的な課題の高齢化問題も、高槻市は全国平均を上回る早さで進んでいます。高齢化率（人口の 65 歳以上の割合）が 21%を超えると「超高齢社会」と呼ばれる中で、昨年 12 月末時点で**25.8%という近隣市の中でも突出して高い数字が出ています。**しかも、将来推計では平成 29 年には 30%を超えると予想されています。このように、「超高齢社会」が突出して進行しているのは、課題 1 であげた若い世代が他市へ流出していることが原因の 1 つです。この「超高齢社会」への対策として、若い世代を高槻市に流入させ人口バランスを整えつつ、**年若い人も安心・安全に暮らせる福祉や防災の充実したまちづくりを早急に進めるべきです。**

高槻市と近隣市の高齢化率比較
(平成 25 年 12 月末時点)
各市の統計資料より



▶近隣市に比べて突出して高い高齢化率（65 歳以上の割合）。

※参照 1：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

課題解決のためには、「住み良い街・高槻」の推進が必要。ビジョン

これらは高槻の根幹に関わる課題なので、早急に、かつ優先して取り組むべきです。まず「近隣市への生産年齢人口の流出」に対しては、子育てや教育の充実した『子育てするなら高槻』と呼ばれるような、子育て世代が住み良いまちづくりを行う必要があります。そうすれば、**近隣市との関係が逆転し、転入超過（転入＞転出）による人口流入に加え、子育て世代が増加することにより出生数も増え、少子高齢化対策にもなります。**「超高齢社会」に対しては、充実した福祉や安全な住環境の提供により、年若い人も安心して住み続けられるまちづくりをすべきです。**「住み良さ」がどこかの世代に偏ることなく、小さな子供からご高齢の方まで、すべての世代が一生に渡って住み続けたい街。**それが真の「住み良い街」であり、高槻市が目指すべき都市像だと確信しています。私はこのビジョンに基づいた政策を提案し続けます。

私が考える「住み良い街・高槻」推進のための 4 つの政策

1. 充実した子育て施策

●待機児童の解消

今年 6 月に市は「待機児童ゼロ」を発表していますが、育児休暇を延長した家庭の子供や年度中に発生した待機児童は数字に反映されていないなど、待機児童問題はまだ解決していません。また、平成 27 年 4 月には「子ども・子育て支援新制度」が始まりますが、国の方針のまま市の条例として定めてしまうと、保育料の増加や保育の質低下などが想定され、子育て世代や子供たちへ更なる負担をかけてしまいます。この新制度に対する市独自の整備を含め、待機児童解消につながる制度設計や事業推進を行うべきです。

●子育て支援施策の推進

子育て世代に住み続けてもらうためには、子育て支援施策を推進する必要があります。例えば、未就学児童を保育園にも幼稚園にも預けていないご家庭に向けて、無料で一時預かり保育を頼める「子育てリフレッシュクーポン」の配布や、2 人目以降の出産を検討されているご家庭のために多子世帯支援の更なる充実を検討するべきです。

3. 安心して暮らせる福祉

●介護施設の充実と在宅療養の推進

特別養護老人ホームなどの施設待機者の増加が課題になっています。この中には「在宅療養を希望しているが、それが困難なために施設入所を検討している」という人も含んでいます。最近では在宅療養を希望する人も増えてきています。そこで、施設入所希望者には特別養護老人ホームを、在宅での介護希望者には在宅療養を、それぞれが希望にあわせて選択できるように介護サービスを充実するべきです。

●健康増進事業の充実

高齢化が進む高槻市には、年若い人も「健康（健康で幸せ）」に住み続けられるまちづくりが必須です。そのために、生活習慣病を未然に防ぐための特定検診の受診率向上やワンコインがん検診の普及推進など、健康寿命を延伸させるための取り組みをいま以上に進めるべきです。

2. 品質の高い教育環境

●放課後校庭開放の推進

現在多くの小学校では放課後の校庭利用は基本的に認められておらず、公園でのボール遊びも禁止されていることが多いです。子供たちが日の入りまで泥だらけになって遊べるような放課後の居場所作りとして、他市ではすでに実現している小学校の放課後校庭開放を進めるべきです。

●先生が教育に専念できる環境作り

先生は本来の仕事以外の対応により、一人ひとりの子供に向き合う時間や、授業の準備に使える時間が圧倒的に不足しています。そこで、弁護士やクレーム対応専門家による問題対策組織の設置や先生の事務作業の再検証、事務作業アシスタントの配置等により、「教育」や「子供との向き合い」に専念できる環境を作り、教育の品質をあげるべきです。

●教員人事権の移譲（府→市）

現在、府が持っている教員人事権を市に移譲すれば、市内各学校のそれぞれの課題に対応するための機動的な人事が可能になります。すでに箕面市・豊中市などでは広域ブロック単位での移譲がなされています。

4. 安全な住環境と道路整備

●集中豪雨に耐えうる雨水浸水対策

高槻市では平成 24 年に 110mm/h という集中豪雨により、床上・床下あわせて 800 件以上の被害を出しました。今年も台風やゲリラ豪雨で大雨を記録しており、今後も集中豪雨被害が発生する恐れがあります。雨水浸水対策として下水道整備が進められていますが、平成 23 年末時点で整備率 43.6%となっており、まだまだ拡がっていません。下水道整備を早急に進めつつ、浸水多発地域には、一時的に雨水を貯める貯留施設や雨水を地下に浸透させる浸透施設を設置するべきです。

●新名神高速道路開通に備えた道路整備

平成 28 年、高槻～神戸間で開通予定の新名神高速道路への対応として、高槻 IC へのアクセス道路と国道 171 号線との接続部分の渋滞対策や高槻 IC 近隣の生活道路への車両規制などを府と連携し進めるべきです。

▶日頃感じている疑問や不満をぜひお聞かせください！
また「竹中の貸し出し」を行います。ご連絡ください！



これまで政治家秘書などの経験を通して、政治について勉強してきましたが、私には経験も知識もまだまだ足りないところばかりです。高槻の未来についてより深く考えていくためには、みなさまの知恵とお力が必要です。そこでよろしければ、どんな小さなことでも構いませんので、**日頃生活の中で感じている疑問や不満、今回のチラシに関するご意見・ご感想を以下の連絡先にぜひご連絡ください！**
また、『竹中の貸し出し』をご要望・ご連絡いただければ、直接お話をしに伺います。
「なんで 27 歳で政治家を目指したの」「政治について詳しくわからないけど、一度話を聞いてみたい」など、どんな内容でも、たとえお一人様でも、お気軽にお声がけください！お近くのカフェやご自宅など、いつでもどこへでも伺います！

☎ 070-5508-9243
✉ mail@takenakaken.net

◎日々の活動のご紹介

i. 市内全戸ポスティング

市内すべての家（約 16 万世帯）のポストに、私と仲間たちで歩いてこのチラシを直接お届けしています！市民のみならず全員に私の想いと政策を知っていただきたいためにこのような活動をしています！

ii. 駅でのチラシ配り

高槻市内にある JR・阪急のすべての駅（5 駅）で、平日の毎朝 6:30～8:30 の間にチラシ配りを行っています。もし通勤途中などで見かけられましたら、受け取っていただけますと幸いです！

iii. ブログ・f での発信

ブログや Facebook で日々の活動状況を発信しています。f の友達申請もお気軽にどうぞ！

🌐 <http://takenakaken.net>

f [ID] takenakaken 竹中健 検索

発行：竹中健とあしたの高槻を考える会

☎ 070-5508-9243

🌐 <http://takenakaken.net>

✉ mail@takenakaken.net

📍 〒569-1037 高槻市東城山町2-12-102

